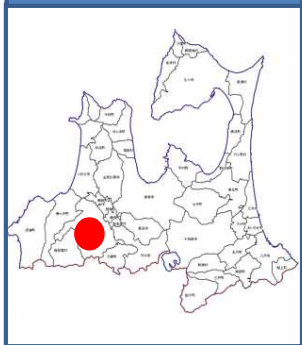


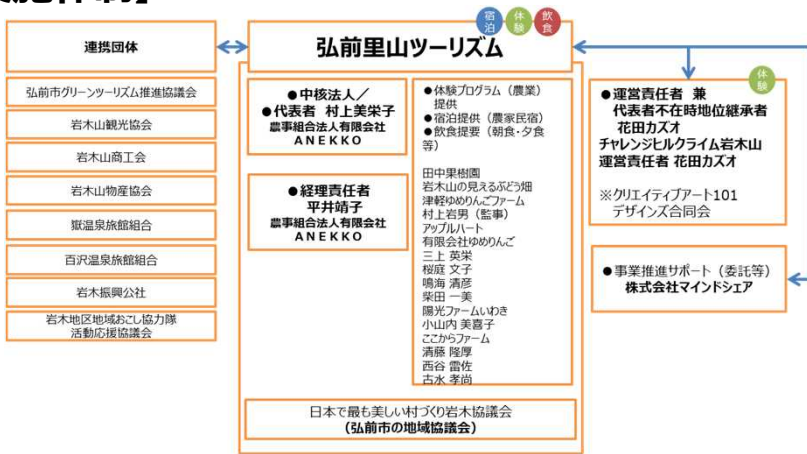
○震災前までは、グリーン・ツーリズムのメッカだった地域だが、状況は大きく後退。弘前市自体は、春から秋にかけては40万人以上が来訪しているが、冬期には大きく減少するため、集客が可能な滞在交流型の観光コンテンツが求められている。また、台湾を中心としたアジア圏の観光客の冬の取り込みも、急務となっている。

○弘前市の観光やグリーン・ツーリズムの課題である「冬期」の誘客、新しい客層の取り込み、アジアを中心としたインバウンド農泊受入れ体制の強化を行い、農泊ビジネスを足掛かりにさらなる地域の発展を目指す。

## 青森県 弘前市



## 【実施体制】



【採択年度】  
平成30年度

【事業実施期間】  
平成30～31年度

## 【特徴的な取組】

- ①サイクル・ツーリズム×農泊推進体制づくり
  - ・検討会開催、サイクリスト・ニーズ調査、サイクリスト受入れセミナー、ツーリズムコース整備 ※農泊サイクルコース5コース設定等
- ②冬期の滞在交流型観光コンテンツづくりとそのPR
  - ・冬期コンテンツ作成、情報発信（動画、あそびゅう）、ウェブマガジン「FRAME」への記事広告掲載、動画制作
- ③アジアを中心としたインバウンド観光客の農泊体制強化（農家民宿の受入れ実態調査、既存の指さし確認ツールの調査）

### ■設定コース（例）

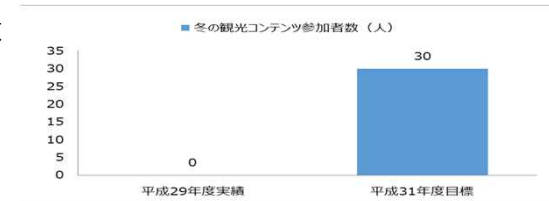
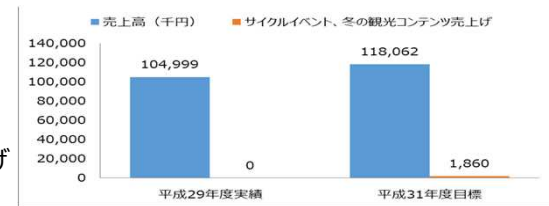
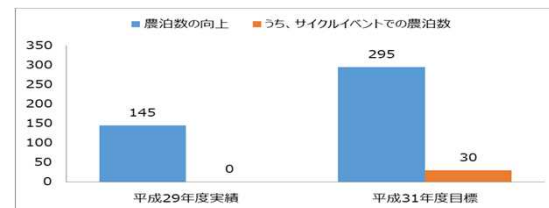


## 【取組内容】

- ①サイクル・ツーリズム×農泊推進体制づくり
- ②冬期の滞在交流型観光コンテンツづくりとそのPR
- ③アジアを中心としたインバウンド観光客の農泊体制強化

○平31年度＜国内＞

- 1) 農泊数の向上  
145泊→295泊へ
- 2) 内、サイクルイベントでの農泊数  
0泊→30泊へ
- 3) 売上高  
104,999千円  
→118,062千円へ
- 4) サイクルイベント、冬の観光コンテンツ等売上げ  
0円→1,860千円へ
- 5) 冬の観光コンテンツ参加者数  
0人→30人へ



## インバウンド対応状況（青：対応）

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約
WiFi	WC	¥	地球儀	Aa	地球儀

